

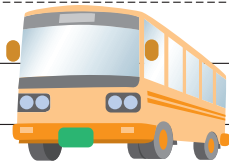
アクセス

せっかくなら、行ってみよう！各構成資産への主なアクセスをご紹介します
※各構成資産間を直接結ぶ公共交通機関はありませんのでご注意ください

バスの時刻表や、そのほかのアクセスは市ホームページ「構成資産までのアクセス」から確認できます！

●鹿児島中央駅・天文館から構成資産へのアクセス(バスを利用するとき)

構成資産	行き先・バス停	のりば	時間 (目安)	使用するバス < >内は下車するバス停からのおよその距離と時間
旧 集 成 館	【周遊バス ☆】 仙巖園前バス停	A 鹿児島中央駅(東4番のりば)	30分	A シティビュー(城山・磯コース、ウォーターフロントコース)と、まち巡りバス B シティビュー(ウォーターフロントコース)のみ <バス停からすぐ>
		B 天文館(天2番のりば)	20分	
	【10号線・始良・国分方面行き】 仙巖園前バス停	鹿児島中央駅(東7番のりば) 天文館(天2番のりば)	20分 15分	鹿児島交通バス、南国交通バス <バス停からすぐ>
寺 山 炭 窯 跡	【宮之浦団地線】 三州原学園前バス停	鹿児島中央駅(東3番のりば) 天文館(天2番のりば)	35分 30分	南国交通バス <距離：1km 時間：徒歩20分>
関吉の疎水溝	【緑ヶ丘・伊敷団地線、本城線】 下田バス停	鹿児島中央駅(東11番のりば) 天文館(天2番のりば)	30分 25分	南国交通バス <距離：0.7km 時間：徒歩12分>



☆…周遊バスにはカゴシマシティビューとまち巡りバスがあります

●「寺山炭窯跡」「関吉の疎水溝」の位置図



東側遊歩道入口①から徒歩10分、途中急坂あり

- 寺山ふれあい公園に90台分の駐車スペースあり
- 途中に南洲翁開墾地の碑あり
- 遊歩道は道が狭く、離合困難のため、車両の乗り入れは不可

西側遊歩道入口②から徒歩5分(東側遊歩道よりは緩やか)

- 炭窯跡を上部から眺めることも可能
- 遊歩道入口付近に駐車スペースなし



地点①(下田バス停付近)から農道に入り、徒歩10分
地点②から農道に入り、徒歩5分

- ニッセイギャラリー稲音館横と巖洞橋北側(県道側)付近にそれぞれ車5台分の駐車スペースあり
- 疎水溝沿いは遊歩道(車道ではないので注意)
- 農道への大型バス乗り入れは不可

●周辺は足元が滑りやすく、降雨時などは河川(稲荷川)の増水により危険です。見学の際は十分注意してください

世界文化遺産登録までの主な道のり

年 月	出来 事
平成17年 7 月	鹿児島県主催で「九州近代化産業遺産シンポジウム」を開催
平成20年 9 月	文化庁が世界遺産暫定リストへの記載を決定
10 月	鹿児島県知事を会長に関係自治体が世界遺産登録推進協議会を組織
平成21年 1 月	ユネスコの世界遺産暫定リストに追加記載
平成25年 9 月	政府推薦案件に選定
平成26年 1 月	政府がユネスコ世界遺産センターに推薦書正式版を提出
9 月	イコモス(国際記念物遺跡会議)が現地調査を実施
平成27年 5 月	イコモスが登録を勧告
7 月	ユネスコ世界遺産委員会で 世界文化遺産登録!!

近代化産業遺産を次世代へ伝える

～かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 若手会～

近代化産業遺産を次世代へ伝えていくことなどを目的に地域住民、NPO、事業者などが連携して設置した「かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議」。その取り組みに参加している市内の大学生らが中心となって平成25年9月に「かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 若手会」が発足しました。若者の歴史離れが進むなか、学生が主体となって活動することで同世代の若者に鹿児島の歴史に興味を持ってもらい、近代化産業遺産の認知度を高めることを目標として頑張っています!!



< 若手会の主な活動 >

月1回の構成資産周辺の清掃、産業遺産の素晴らしさを伝えるイベントの企画・運営(詳しくはかごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 若手会ホームページ・フェイスブックをご覧ください)



若手会 代表
なかいもも子 中井萌々子さん

学校の掲示板で見たメンバー募集をきっかけに若手会に加入して1年になります。もともと鹿児島も歴史も好きで、すぐに興味をもちました。登録が決定したときは素直に嬉しかったです!

特に印象に残っている活動は、昨年末に開催した維新フォトラリーです。協賛していただいた企業の人と接する機会などもあり、とても勉強になりました。今後の活動としては、図書館で小学生を対象にした課外授業やおはら祭での展示ブースなどを予定しています。これからもどんどん活動の幅を広げ、多くの人に世界文化遺産を知ってもらいたいです。

※若手会の活動に興味のある大学・短大生は、世界文化遺産推進室216-1504までご連絡ください

■戦後70年を迎えて

まもなく、終戦の日、8月15日を迎えます。

本市は、昭和20年3月から8月にかけて計8回にわたる空襲を受け、市街地の9割以上を焼失し、死傷者約8千人を数えました。特に6月17日夜半の上空襲では、一夜にして2千人余りが犠牲になりました。先般、みなと大通り公園「人間之碑」への献花で、出席された市民の方々と一緒に黙とうし、花をたむけ、あらためて戦争の悲惨さを語り合うことでした。

本市では「平和都市宣言25周年・戦後70年記念事業」の一環として、今月7日から12日まで、市民の皆さんから寄贈された防空頭巾や千人針など貴重な戦災復興資料を、中央公民館で展示いたします。提供いただいた方からは「戦争で犠牲になった人たちのことを思い、日々平和であることに感謝して生きてほしい」との声も一緒に寄せられています。

戦後70年を迎え、私を含め戦後生まれが国民の5人に4人を占めるなど戦争体験が風化しつつあります。戦争の悲惨な記憶を決して忘れることなく、次の世代へと語り継ぎ、再び戦争による惨禍を繰り返さないことを誓いたいと思います。

■寒蝉鳴

すっかり夏本番となりました。ジリジリと照りつける真夏の太陽にも負けずに、プールや公園で元気に遊ぶ多くの子どもたちの姿が見られます。

8月は年間平均気温が最も高い月ですが、もう8日は秋の始まり「立秋」。お盆の頃は、季節を表す七十二候(※)で「寒蝉鳴」となっています。夏の代名詞ともいえるセミの鳴き声は、アブラゼミの「ジージー」など、暑さを連想させますが、早朝や夕方に鳴くヒグラシの「カナカナカナ」は涼しげに聞こえてくるようです。暑い中、この鳴き声や、木陰で吹き抜ける風などにひとときの涼を感じることもできます。



猛暑がまだまだ続きますが、体調管理に努めていただき、自然や日々の暮らしの中で、自分なりの秋の気配を探してみませんか。

※七十二候…夏至などの二十四節気の各節気をさらに3つに分け、動植物の変化などを表した季節のことば



鹿児島市長
森 博 幸

